

活力あふれる農村地域の発展事例から学ぶ
— 土地改良事業の実施地区から —

平成31年3月
農林水産省

取組事例集 目次

都道府県 市町村	地区名	事例	観点			主な作物	キーワード	頁
			国土 強靱化	一億 総活躍	地方 創生			
北海道上川郡鷹栖町	北野、共栄近文	スマート農業の導入で地方創生を後押し！			○	水稲、 トマト	スマート農業、6次産業化、 子供増加	1
北海道斜里郡斜里町	斜里	基盤整備を契機とした高収益生産の拡大と先端技術（IC T）の導入		○	○	にんじん	スマート農業、輸出	2
岩手県一関市	八幡沢	農業用水路の改修により農地や公共施設の湛水被害を 防止	○			水稲	財政健全化	3
岩手県西磐井郡平泉町、 一関市	一関第2	水田農業における産地収益力の向上と防災・減災の取組	○		○	水稲、小麦	財政健全化、6次産業化、 地域おこし	4
宮城県遠田郡美里町、 涌谷町	出来川右岸	農地利用集積による大型施設野菜団地の形成		○	○	水稲、ねぎ	雇用創出、女性活躍	5
栃木県宇都宮市	清原南部	6次産業化・輸出・農福連携への取組		○	○	梨	農福連携、6次産業化、輸出	6
千葉県香取市	香北	排水機場・排水路の改修により農地や公共施設の湛水 被害を防止	○			水稲、 いちじく	財政健全化	7
長野県生坂村	いくさか	生食ぶどうへの生産転換とブランド化に伴い、人口の社 会増を達成			○	ぶどう	新規就農、人口増加	8
静岡県伊豆の国市	韮山	湛水被害に強い農地だからこそ新規就農者を呼び込め る！！	○		○	ミニトマト、 いちご	財政健全化、新規就農	9
静岡県浜松市	浜名湖北部	全国の産地をリードする「三ヶ日みかん」のブランド力を 強化			○	みかん	機械化、機能性食品、輸出	10
福井県永平寺町	松岡吉野	ほ場の大区画化によりコスト低減と経営の多角化を実現			○	水稲、 ピクニックコーン	機械化、雇用創出	11
岐阜県輪之内町	輪之内本戸	法人化による経営の安定とブランド化への展開		○	○	水稲、 ブロッコリー	雇用創出、女性活躍、 地域おこし	12

湛水被害に強い農地だからこそ新規就農者を呼び込める！！【静岡県伊豆の国市】

いずのくにし

国土強靱化

一億総活躍

地方創生

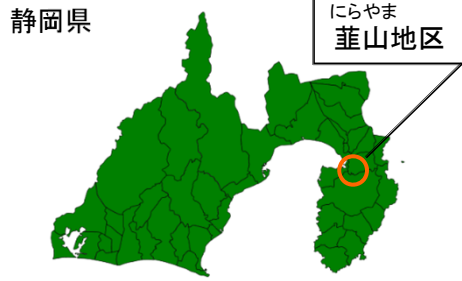
【工夫のポイント】

- 狩野川下流に位置する本地区は、低平地であることに加え、流域内の開発が進み、**湛水被害が常習化**。
- 湛水被害を未然に防止するために**排水機場を設置**し、流域の開発による影響を抑えるため、**適時・適切な補修・補強工事を順次実施**。
- 水稲から高収益作物として、**ミニトマト等の施設栽培に転換、積極的に新規就農者を受け入れ**。

【取組地域の概要】

いずのくにし

- 位置 静岡県伊豆の国市



- 主要作物
 - ・水稲、イチゴ、ミニトマト 等
- 主要施設
 - ・排水機場 5カ所（受益面積471ha）
- 主な支援施策
 - ・湛水防除事業（S46～H11、H13～H29）
 - ・農業水路等長寿命化
 - ・防災減災事業（H27～H31）

農地の湛水被害を防止

排水機場の設置により、豪雨時に強制排水が可能となり、農業生産物・農業施設の**湛水被害が防止**され、また、地域の安全性を確保。その後も、**適時・適切な補修・補強工事を順次実施**。



毘沙門排水機場

（参考）費用対効果

68億円 < 130億円
整備費用 被害想定による効果額

基盤整備
（S46年～H31年）

【整備前】

豪雨の度に地域内が湛水し、水稲、イチゴ等の農業生産物被害が発生。



湛水の状況（H10年8月台風4号）



水没した温室（H10年8月）

水稲から施設栽培へ転換

- 豪雨時の**湛水被害が防止されたこと**から水稲から高収益を目指した**ミニトマトやイチゴの施設栽培へ転換**。



水田地帯に展開している温室



温室内のイチゴ（高設栽培）

生産現場

安全性を高め、新規就農者を呼び込む

- 高齢化による離農者の増加に対応するため、ミニトマト栽培の**新規就農者を、地域が一丸となって積極的に受け入れ**。



出荷されるミニトマト



新規就農者のトマト温室

地域の取組

新規就農者が増加し、地域を支える存在へ！

- **湛水被害に強い農地が確保されたこと**から、**安心して就農する人が増加**。新規就農者は年々増加し、特に、**ミニトマト生産者46人中43人が新規就農者**。
- 管内JAの果菜類**販売額は、事業実施時から約6倍に増加**（その約8割が新規就農者による）。
- JAの部会がH25に**日本農業賞の大賞を受賞**。



新規就農者

JA伊豆の国 果菜類の新規就農者と販売額



【工夫のポイント】

- ほぼ全ての園地に給水栓を設置したことで、**マルチドリップ方式の導入による安定した水供給**が実現。
- 地域全域に交通網が形成され、**スピードスプレーヤー(SS)がほ場に導入可能に**。
- 機能性表示食品への認定を皮切りに、「**三ヶ日みかん**」の**販路開拓、輸出**を強化。

基盤

畑地かんがい施設整備による安定した水供給ときめ細やかな水管理

かんがい施設が整備されたことで、**マルチドリップ方式**によるきめ細やかな水管理により、**高糖度みかん生産**が実現。



基盤整備 (S50年～H21年)

【整備前】

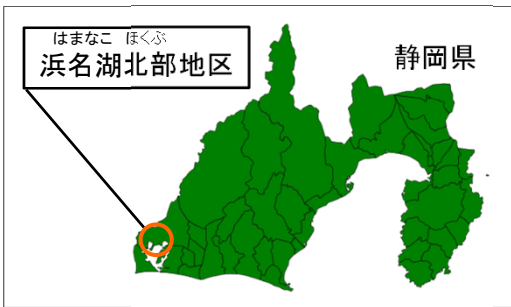
谷溪水や河川水を小型トラック等で園地まで運搬し、農業用水として利用。

傾斜地が多く、かん水や防除は手作業で行われていたことから、規模拡大やみかんの品質向上が困難。



【取組地域の概要】

- 位置 はままつし
静岡県浜松市



- 主要作物
みかん

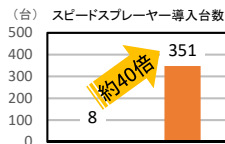
○主な支援施策

- ・国営浜名湖北部農業水利事業(S50～H元)
- ・県営畑地帯総合整備事業(S51～H21)
- ・広域営農団地農道整備事業(S59～H21)
- ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

(H20～)

生産現場

農道整備による機械化・省力化の取組



- 農道整備によって、**輸送・作業時間が短縮**。
- **スピードスプレーヤー(SS)の導入数が飛躍的に増加し、農業散布に係る労力が軽減**。

加工・流通

「三ヶ日みかん」の高付加価値化と輸出の取組



- **果実として全国初の機能性表示食品に認定**され、H27年度産よりパッケージに表示。
- H28年度から**カナダへの輸出**を実施。

担い手

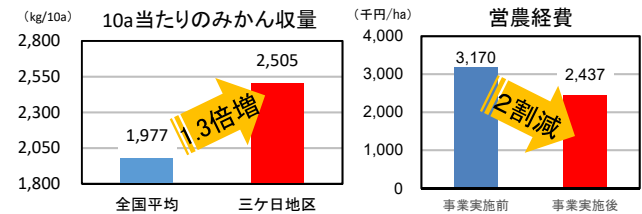
作業受託組織の活動を通じた産地維持の取組



- **地域の担い手農家を中心に作業受託組織を設立し、改植、整地、施肥、防除等の作業を請け負い、労働力不足に対応**。
- 現在**3組織(計28名)**が活躍中。

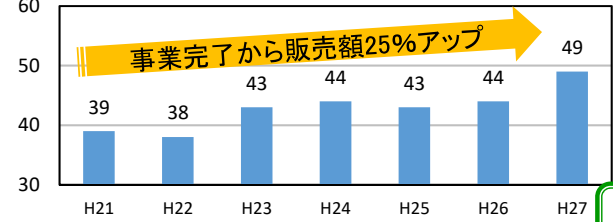
畑地かんがい施設整備を契機とした高品質みかん生産による儲かる農業の実現

- かんがい施設の設置により、**反当たり収量が全国平均の1.3倍増、営農経費が事業実施後に2割減**。



- **経営面積10ha超、販売額5,000万円超**を達成する経営体が現れ、**大規模経営体の平均販売額が25%増加**。

＜代表的大規模経営体の平均販売額の推移＞



【JA三ヶ日より聞き取り】